

空き家の可能性4割

「スマイスター」売却・賃貸で対応が半数 利用者の実家調査

・7%)など。更地とシ
ェアハウスの選択はゼロ
だった。

不動産関連の比較査定
サイト「スマイスター」

を運営するリビン・テク
ノロジーズ(東京都中央
区、川合大無社長)は9

月25日、同サイト利用の
30歳以上の247人を対
象に「実家が空き家にな

る可能性」について調査

したところ、空き家にな
る可能性が40・1%に達
することがわかった。

可能性が「ある」(30
・4%)と「既になって
いる」(9・7%)を合
わせると4割を占めた。

「ない」(58・7%)は
6割に届かなかった。

「賃貸だからならない」
(1・2%)は少数派と

なり、実家が空き家の危
機にさらされていること
が浮き彫りとなった。

「実家が空き家になる
理由」では、「将来、住
む予定がない」(73・7
%)が最も多く「老朽化」
(24・2%)、「管理が
できない」(16・2%)、

「建て替えができない」
(8・1%)などと続い

た。「場所的に需要がな
い」と「固定資産税を払
いたくない」(共に6・

1%)や「取り壊しがで
きない」(3・0%)と
いった回答もあった。

一方、「実家が空き家
にならない理由」で最も

多いのは「住んでいる」
(71・7%)となり、

「将来、住む予定がある」
(17・2%)と合わせる
とほぼ9割を占めた。

ほかに「売却する」
(4・8%)、「賃貸に
出す」(4・2%)、
「更地にして土地活用す
る」(1・4%)、「民
泊として活用する」(0

「実家が空き家になっ
たらどうするか」も聞い
たところ、「まだわから
ない」(39・8%)が最
も多かったが、「売却す
る」(32・8%)が2番
目に続いた。「親族に住
んでもらう」(11・9%)
や「賃貸に出す」(7・
4%)が続いた。

「空き家の望ましい活
用法」としては「売却」
(25・2%)と「賃貸」
(24・3%)で半数を占
めた。更地、家族や親族
が住む、民泊、シェアハ
ウス、駐車場などの回答
もあったが、「子どもに
住んでほしい」という親
の本音や「古民家として
活用する」、「行政が買
い上げし、有効活用する」
などの回答もあった。